

『 風に刻まれた想い | 「三・一一」 | 』

風はたしかに知りたもう  
愛し子 守ろうとしたその想い

「三・一一」あの日 があって・・・

想いのなか 迷いのなか

その地を後にしたこと

その地に留まったこと

・・・いま ここにいること

裁いていい者など

なじっていい者など 誰もいやしない

風はたしかに知りたもう

愛し子 守ろうとしたその想い

風は永久（とわ）に知りたもう

作詞 「風に刻まれた想い」三・一一」

表紙絵 「母と子」

あとりにえとおの 渡辺智教